

司令官

主計長



事務連絡

田中集團參謀部復員班

隸指揮下各部隊御中

支那派遣軍復員規定中改正事項別紙、通電報アリタ

ルニ付既賦ス

追テ本改正事項ハ其ノ大要ヲ電報セラレタルモノニシテ其ノ細部

ハ省略セラレアル箇所アルモノト判断セラルルモ不取敢既賦致スモ、

ナルニ付可然處理相成度

尚更メテ交付セラルベキ「支那派遣軍復員規定」ハ未着ナリニ

付為念

法務長

軍醫長



0633

支那派遣軍復員規定中改正事項

第二條 第一號中「飛行師團長」次ニ「第一。五教育飛行團長」ヲ加フ

第五條 第一項中「南京ハ第六軍司令官、漢口ハ第六方面軍司令官、九江ハ第十一

軍司令官」ヲ「南京ハ第六軍司令官、九江ハ第十二軍司令官、漢口ハ第六方面軍司令官」ニ改ム

~~同條 第五號中「朝鮮」ヲ削除ス~~

同條第六號第三號全文ヲ左ノ如ク改ム

3. 主力部隊ト分離シテ各々部隊トシテ

改正追加

第五條 第六項中「朝鮮」ヲ削除ス

第九條 ヲ左ノ如ク改ム

「第九條 各復員管理官ハ部隊乗船終了毎ニ速ニ總司令官ニ報告スルモトス
又陸地ニ於テ復員業務ノ爲 附表第一其ニノ員ヲ同表ニ依リ復員本部
ニ先遣復員本部長ノ區處ヲ受ケシムルモトス」

0635

0634

支那派遣軍復員規定中改正事項

第二條 第一號中「飛行師團長」次ニ「第一。五教育飛行團長」ヲ加フ

第五條 第一項中「南京ハ第六軍司令官、漢口ハ第六方面軍司令官、九江ハ第十一

軍司令官」ヲ「南京ハ第六軍司令官、九江ハ第十一軍司令官、漢口ハ第六方面軍

司令官」ニ改ム

~~同條 第一號中「朝鮮」ヲ「前線」ニ改ム~~

同條 第六號 第三號全文ヲ左ノ如ク改ム

「3、主力部隊ト分離シテ、獨立之部隊ノ一部ニシテ、主力ニ復歸シ得ル見込ナキモノハ

主力、未ダ乘船出奔シテアラサルモノニ限り出奔セシメ、主力、既ニ出奔（復員）シ、

アルモノハ適宜ノ部隊ニ轉屬スニ改ム

第七條 中「總參二電第一九五號」ヲ「陸普第一八〇號（總參二電第一九五號）」ニ改ム

第五條、提出書類ニ覽表中ノ就職希望（決定）者調書摘要欄ニ「現役將校ノ分

ト現役將校以外ノ分トニ区分ス」ヲ加入ス

同條ノ提出書類ノ末項ニ左ノ二項ヲ追加ス

0635

0634

書 類 部 数	三五 退官退職従軍文官連名簿 解除	三六 退官退職従軍文官履歴書 解除
摘 要	1. 所属代名現官職俸給同(癸令年月日出身別(向々銀行通信事務官等)及復員後、他府代名ヲ記スルモノトシ本來自陸軍従軍文官他省ヨリ、従軍文官他省ヨリ陸軍文官一般入ヨリ採用、ヤル陸軍文官嘱託等ニ別業トス 2. 本名簿ハ復員本部ヲ経テ上陸地軍管区司令部ニ提出シ軍管区司令部ヨリ陸軍省ニ提出ス 陸軍文官向待遇着ハ癸令轉官又普通採用及認可従軍癸令令之以降陸軍在職間、事項ヲ記載ス 狩ニ爾後ノ人事取扱及恩給ニ關係シ履歴(官等俸給陸管区等履歴等)ニ付既済ナカラシメ退官時ヲ別記ス 本履歴書ハ復員本部ヲ経テ上陸地軍管区司令部ニ提出シ軍管区司令部ヨリ陸軍省ニ提出ス	1. 所属代名現官職俸給同(癸令年月日出身別(向々銀行通信事務官等)及復員後、他府代名ヲ記スルモノトシ本來自陸軍従軍文官他省ヨリ、従軍文官他省ヨリ陸軍文官一般入ヨリ採用、ヤル陸軍文官嘱託等ニ別業トス 2. 本名簿ハ復員本部ヲ経テ上陸地軍管区司令部ニ提出シ軍管区司令部ヨリ陸軍省ニ提出ス 陸軍文官向待遇着ハ癸令轉官又普通採用及認可従軍癸令令之以降陸軍在職間、事項ヲ記載ス 狩ニ爾後ノ人事取扱及恩給ニ關係シ履歴(官等俸給陸管区等履歴等)ニ付既済ナカラシメ退官時ヲ別記ス 本履歴書ハ復員本部ヲ経テ上陸地軍管区司令部ニ提出シ軍管区司令部ヨリ陸軍省ニ提出ス

第六條 第三項中「日附ヲ以テ癸令スルモノトス」ヲ「日附ヲ以テ癸令スルモノトシ、所管

長官ノ認定ハ要ヤサルモノトス」ニ改ム

同條第三項中「進級ハ左ノ停年ヲ有スル者ニ付」ヲ「進級ハ十一月末日ニ於テ大ノ

停年ヲ有スル有資格者ニ付ニ改ム

第三十條 全文ヲ左ノ如ク改ム

第三十條 各部隊長ハ復員ニ伴フテ人員整理ヲ左ニ據リ處理スモノトス

一、現役將校

現役ニ編入セラレタル特別志願將校ヲ含ミ中流ハ第二號ニ定ムル者
(參謀ヲ含ム)ニテ轉役除隊ヲ希望スルモノヲ除ク

ノ外上陸地ヲ管轄スル軍管區司令官ノ定ムル部隊ニ轉屬ス

二、第十四條及第十六條ノ人員並ニ各隊ノ生死不明者ハ支那派遣軍總司令部ニ轉屬ス

部ニ轉屬ス

三、前號以外ノ將校及各役ノ准士官、下士官、兵ハ夫々轉役、現役満期(飯休)

除隊セシメテ若シハ召還解除ス

四、高等文官、判任文官ハ退官セシメ嘱託及雇傭人ハ解嘱(解雇)(解傭)ス

但シ陸軍部外、文官、嘱託及雇傭人ハ既屬ヲ解キ之ヲ本屬ニ復級セシム

五、第三條第三項ニ據リ現世ニ於テ復員スルトキハ現地轉役、除隊(召集

解除)(解雇)(解傭)スル者ノ外ハ全員復員管理官ノ指定スル部隊ニ

轉屬スルモノトス

第三十條 末項中「三部」ヲ復員本部ニ提出スルモノトスヲ「三部」ヲ復員本部ニ提出シ

爾後復員本部長ノ指示ヲ受クルモノトスニ改メ

第三十條 第一項ニ夫、但書ヲ加フ

「但シ、現役將校ニ對シテハ轉役ニ拘ラス、揚陸地ニ上陸ノ際之ヲ支給ス」

同條 第二項全文削除

同條 第三項中「臨時手当」ヲ削除ス

同條 第五、六、七、八、九條「第六、七、八、九條」ニ順次繰下ケ新ニ同條五號

トシテ左ヲ加フ

「五、軍人軍屬ニ對シテ一日以上陸地ヨリ本籍地迄ノ飯糶旅費トシテ

旅費規則第二表乙旅費(内地)日當三百分ノミ支給スル外營外者ハ

上陸地ヨリ移轉料ヲ支給ス、但シ内地外、家族携行許可地ニ家族ヲ

殘置シテリル者ニ對スル家族移轉料ハ支給ヤス」

同條第六張中「飯郷ニ要スル旅費ヲ削除ス

同條第七張中「並ニ第三號」及「俸給、給料等」ヲ削除ス

〔右、改正ハ中央ノ指示ニ依ルモノニシテ其改正要旨並ニ之ニ伴フ注意處匪事頂上ノ通ナルニ付承知アリ度

(1) 現役將校ニ對スル退職當共ハ金錢旅券ノ簡易ト支給ノ確實ヲ期スル
爲召集將校ト同様方地上陸直後支給スルモト、ナリ名ニ付但書ヲ加フ

(2) 十二月十四日來電陸普第〇五八張ニ據ル
ニ伴ヒ俸給、給料等、言

分前拂ハ停止セラルル 但既ニ現地ニ於テ轉役、除隊、召集解除、解囑、解
雇、解雇セラルル者ニ對シ前拂セル俸給、給料等ニ付テハ返納セラルモトヲ得

(3) 十二月九日附陸普電第五六三號ニ依リ臨時手當ハ昭和五年八月分以降
支給セザルモトニ定メラル 但既ニ支給済ノモノニ付テハ返納セザルモトヲ得

(4) 十二月十四日來電陸普第二七四號ニ依リ軍人軍屬ニ對シ十二月十日以降上陸地
ヨリ本籍地迄ノ飯郷旅費ノ経理ニ關シ前記一ノ五、ヤク定メラル 但し鐵道

0639

輸送ハ所定ノ通行ハレル敷キナリ

(5) 昭和二十年九月以降支給セル俸給給料戦地増俸臨時家族手当等

諸加俸等現地ニ返納上内地陸地ニ於テ支給スルニ得但シ内地

陸地ニ於ケル支給ノ便宜上部隊毎ニアルベク統一マシムト共ニ單獨行動者

ニハ給共通報ヲ確實ニ携行サレラレ度

(6) 此等ニ伴フ附表様式ノ不用箇所ハ適宜削除スルモトス

第三二條 第一項中「陸時」ニ「乗船」ニ改ム

第三九條 中「上級先任指揮官其ノ指定部隊長」ニ「上級先任指揮官(其ノ指定部隊)

ニ改ム 同條中「決算整理ヲ完結セル」次ニ「部隊」ニ改ム

第三三條 第三項ニ「カ」ヲ加フ

「又ハ院患者ノ病床日誌ニ轉飯ヲ取り名患者ノ病床日誌ニテ 既認

(事實) 證明書等所要證據書類ヲ缺クモノハ所屬部隊ニ連絡シ患者

ノ還送ノ時(轉飯ヲ取り名患者ノ病床日誌ノ分ハ衛生機関(復員時)迄整備

シ置クモノトス

0641

0640

輸送ハ所定ノ通行ハレル豫定ナリ

(5) 昭和二十年九月以降支給セル俸給・給料戦地増俸臨時家族手当並ニ

諸加俸等現地ニテ返納ノ上内地陸地於テ支給スルコトヲ得但レ内地

陸地於ケル支給ノ便宜上部隊毎ニテレバ統一ヤシムト共ニ單独行動者

ニハ給共通報ヲ確實ニ携行ヤレラレ度

(6) 此等ニ伴フ附表様式ノ不用箇所ハ適宜削除スルモノトス

第三條 第一項中「陸地」ヲ「乘船」トニ改ム

第三條 中「上級先任指揮官」其ノ指定部隊長ニ「上級先任指揮官(其ノ指定部隊)」

第三條 第三項ニ左ヲ加フ

「又入院患者ノ病床日誌ニ轉飯ヲ取リ名患者ノ病床日誌ニシテ 既認

(事實) 證附書等所要證據書類ヲ缺クモノハ所屬部隊ニ連絡シ患者

ノ還送ノ時(轉飯ヲ取リ名患者ノ病床日誌ノ分ハ衛生機關(復員時)迄整備

シ置クモノトス

0641

0640

諸種ノ状況上整備
不能ニシテ還送ス場合ハ患者ノ口供及病日誌一號紙等ニ依リ詳細ナル
調製資料ヲ作製シ當該病床日誌末尾ヲ添附シ置クモトス

第平三條第一號中「成ルヘク復員本部」ヲ「成ルヘク速ニ復員本部」ニ改メ

第平六條トシテ右ヲ増補ス

「第平六條 還送患者看護送ノ上級先任ノ軍醫將校及主カトシテ分離シ
テ先發返還ノ一部上級先任將校等ハ獨立部隊長ニ準用スルモトス」

附表第六 残留者名簿調製上ノ注意ヲ大ニ加メ改メ

「一本名簿ハ残務整理者所在不明者其他残留者毎別紙ニ調製ス
ルモトス」

附表第九 引継目録書「註」第二以下全文ヲ削除ス

附表第十一 還送患者連名簿調製上ノ注意第一項中「部隊ニ在リテハ」ハ「次ニ

「復員本部ニ保管シテ還送患者連名簿ニ添リ」ヲ加フ

附録第一ヲ削除シ附録第一其ノ一(別紙)附録第一其ノ二(別紙)ヲ加フ

別紙第三ノ備考第三項ノ「現役」ヲ削除ス

附録第一其一

總經主要第三七二號

經理書類ノ處理ニ関スル件

昭和三十年九月二十七日

支那派遣軍總參謀長

内地販還ニ當リ金錢物品出納ニ関スル經理書類處理ハ九月二十七日附陸

普電第三六八號ニ依リ左記ニ應ルニトニ定メテレタニ付承知相成度

右 託

一、戦時陸軍計算證明規程ニ依リ提出シテ得ル書類ハ極力携行

スルコト、但シ輸送ノ状況上眞ニ已ムラ得サルトテハ保證書ヲ以テ替フルコトヲ得

ニ、整理簿ヲ除キ其ノ他ノ金錢帳簿及保證書ヲ以テ證明シタル證明書類

ハ適宜處理スルコト

三、戦用品ノ出納證憑書類諸帳簿ハ戦用品取扱規則第三十九条ノ検査官
検査ヲ了シ責任解除ヲ為シタル後之ヲ適當ニ処分スルコト

四、共有金品及之ニ準スルモノハ整理簿ヲ除キ諸帳簿出納證憑書類ノ処分ヲ前條
ニ準ス

五、臨時軍事費受拂計算書、保證書、戦時陸軍計算證附規程ニ依リ提出ヲ要
スル證憑書類ヤ入金領收附簿等、同附屬書類、整理簿、軍需品處理調
書ハ内地飯還ノ際各軍毎ニ取纏メ復員本部提出スルモトス

六、本處理ハ嚴正ニ實施シ禍根ヲ残サザルコ

道テ細部ハ各軍ニ於テ適宜定メラレシ差士又ナキニ付爲念

「金錢及物品ノ證據書類ノ處理ハ本電ニ拘ラズ總經主電第三九九號ニ
依ルモトス」

總經主電第三九九號

金錢物品證據書類等處理ニ関スル件

昭和二十年十月十八日

支那派遣軍總參謀長

十月十七日附陸普電第四四二號ニ依リ左ノ通示達セラレタニ付之カ勵行オ
指導相成度

然地部隊ノ金錢物品ノ出納ニ関スル證據書類及帳簿ハ從來ノ規程ニ拘
ラス極力之ヲ保存シ尚飯還ニ當リテ成レ得ル限り携行スルヤケ取計セ
リ度

附録第一其二

總經主電第三九九號

中國側ニ交付スル金錢並諸物品整理要領

昭和二十年十月十日

支那派遣軍總參謀長

0645

中國側ヨリ借入又ハ交付ヲ受テ金銀並ニ糧秣營繕材料其ノ他諸物品ノ整頓領ハ大詔ノ通定メラル

左 記

一、中國受降主官ヨリ現品交付ニ係ル諸物品並現物代金(糧秣等現品交付

ニ替ヘ支給セラル金銀)ヲ受領スヘキ部隊ハ中國側トシテ諸物品受授證書

並現物代金受授證書ヲ作製シ且品目別受領數量單價小計並現物代金

受領額ヲ各軍(中間軍ハ方面軍)ニ於テ取纏メ毎月總單ニ報告スルモノトス

二、現品交付ニ係ル諸物品及現物代金ニ依リ購入セハ物品ノ統帳整理ハ戰用

品取扱ノ要領ニ依ルモノトス

三、第二項以外ニ必要トスル資金ハ各軍ニ於テ中國側受降主官ヨリ直接借入ル

ルモノトス

借入ニ際シテハ中國側トシテ借入金受授證書ヲ作製スルヲ借入額ヲ毎

月總單ニ報告スルモノトス

0646

四、中隊軍又ハ師團ニテ直接中國側受降主官ヨリ前項資金ヲ借入ルル必要

ス時ハ直上各軍ノ認可ヲ經テ借入ルルヲ得

右ノ場合借入金ハ直上各軍ノ借入金ニ一若シテ各軍ヨリ總軍ニ報告スルモノトス

五、各部隊ハ借入金又ハ現物代金ノ受入アリタルトキハ之カ整理ノタメ整理簿ヲ設ケ借入金及現物代金ヲ口座別ニ記帳シ毎月借入金(借入金並現物代金ヲ云フ)受

拂計算書ヲ調製スルモノトス

六、借入金受拂計算書ハ臨時軍事費受拂計算書様式ヲ準用ス之カ附屬書類トシテ證憑書類並ニ支拂額集計表ヲ添付スルモノトス

七、借入金ハ法幣建ヲ原則トスルモ現地通貨建借入金アル場合ハ前項受拂計算

書ハ各通貨別ニ作製スルモノトス

八、借入金並現物代金ハ各部隊相互間ニ於テ移算ヲ行ヒ得サルモノトス尚各部隊ノ不要額ハ直上各軍ニ返納セシムルモノトス

九、第十三飛行師團、第二船舶輸送司令部及總軍直轄部隊ハ其ノ必要ト

0647

不_レ借入金又ハ現物代金ヲ所在地各軍ヨリ交付ヲ受クルト共ニ借入金受拂
計等書ヲ當該軍ニ提出スルモノトス

十、各軍ハ内地販還ニ當リ各部隊ノ借入金受拂計等書ヲ拵集計上最終
受拂計等書ト共ニ内地陸地ニ於テ復員本部ニ提出スルモノトス 各軍ノ借入
資金支拂残額ノ返納地矣ニ關シテハ追テ拵示ス

十一、第一、第三、第四項ニヨル諸物品受授證書、現物代金受授證書並借入金
受授證書ハ各軍ニ於テ取纏ノ上内地陸地ニ於テ復員本部ニ提出スルモノトス
備考

一、第一項品交付ニ係ル諸物品ノ單價ハ將來ノ賠償額算定ノ資料ナリニ
付受領目ニ於テ爾當該品ノ中國側購買價格ヲ通報スルモノトス

一、但し購入價格不明ノ場合ハ當該品目ノ平均市場相場ヲ以テ之ニ替スルヲ得
一、總務主任電第三五六號ニ依ル借入金前渡資金ノ整理ハ本電領ノ通改訂スル
一、臨時軍事資金ノ決算整理ハ従前通トス

副官					
	B	C	D	A	

司令長官 (3) 参考

總參一第 一五二〇 號

支那派遣軍復員本部服務規定

使務主任

傳馬 五印

昭和二十九年九月三十日
支那派遣軍總司令部
第三三軍司令部複寫

海防廳備府(人)
21.1.24

0649

總參一第_五〇號

支那派遣軍復員本部服務規程之件達

關係部課

首題ノ件本冊ノ通り是々

昭和二十九年九月三十日

支那派遣軍總司令部

0650

目次

第一章 總則

第二章 諸官、職責

第三章 復員本部業務一般、要領

第四章 本部内各機關ノ業務

第五章 文書及電報、取扱

第一節 通則

第二節 起案及決裁

第三節 發送

第四節 受領

第六章 會報

第七章 出張

附則

0651

第一章 總則

第一條 本規定ハ軍隊内務令、支那派遣軍總司令部服務規定ニ基キ支那

派遣軍復員本部以下復員本部ト略ス 出所、服務ニ関スル事項ヲ定ム

復員本部ニ於ケル内務ニ関スル事項ハ復員本部長之ヲ定ムルモノトス

各出張所ニ於ケル内務ニ関スル事項各出張所長復員本部長ノ認可ヲ受ケ

之ヲ規定スルモノトス

第二條 復員本部ハ支那派遣軍復員規定ニ基キ支那派遣軍隷下指揮下部隊

ノ復員業務ヲ處理スルモノトシ陸軍省、陸軍留守業務部、陸軍区司令部、内地

鐵道司令部、其他關係機關ト連絡シ復員歸還部隊上陸後ノ宿營、給

養金錢其他ノ諸給與及最終決算輸送、歸還部隊ノ人員死歿者

生死不明者、遺失患者等ニ関スル事項ヲ統一處理スルモノトス

第三條 復員本部ハ其ノ業務ヲ遂行スル為ニ總務、經理、醫務、ニ課ニ區分ス

第四條 各出張所人員遺骨、廢務輸送、既府、經理、衛生班ニ區分シ其ノ

販務ハ本規定ヲ準用シ復員本部長ノ認可ヲ受ケ出張所長之ヲ充ルモノトス

第ニ章 諸官ノ職責

第五條

復員本部長

以下本部長ハ略稱ス

ハ復員本部及各自出張所ヲ統一指揮シ復員業務ニ

関シ總司令官ニ對シ其ノ責ニ任スルモノトス

本部長ハ其ノ任務ノ範圍内ニ陸軍部及人事ヲ含ムニ於テ之ヲ派遣軍總司令

官又ハ總參謀長ノ職責ヲ代行スルコトヲ得

第六條 出張所長ハ本部長ノ命ヲ承ケ出張所附將校以下ヲ指揮シ其ノ業務

ヲ遂行ス

出張所長ハ出張所附將校以下ニ對シ懲罰權ヲ有ス

第七條 課長ハ本部長ノ命ヲ承ケ班長以下ヲ指揮シ其ノ業務ヲ指導監督

シ課内ニ於ケル事務整理ノ責ニ任ス

課長ハ准士官以下ニ對シ懲罰權ヲ有ス

總務課長ハ本部事務ヲ統制ニ任ス

經理(醫務)課長ハ其ノ任務ノ範圍内ニ於テ支那派遣軍經理(軍醫)部長ノ職責ヲ代行スルコトヲ得

第八條 班長ハ課長ノ命ヲ承ケ班附將校以下ヲ指揮シ其ノ分擔業務ヲ監督ス

第九條 班附將校ハ班長ノ命ヲ承ケ分擔業務ヲ處理ス

第十條 准士官下士官上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

第十一條 前諸條ノ外總務課、庶務班長以下ノ職責ハ軍隊收務令朕大隊本部附諸官ノ職責ヲ準用スルモノトス

第三章 復員本部業務一般ノ要領

第十二條 復員本部業務一般ノ概要左ノ如シ

一 總務課長ハ派遣軍ニ於テ計畫スル復員要領ニ基テ準備要旨ヲ策定シ
シ決裁ヲ得テ之ヲ關係課ニ示ス

又 船舶地上級先任指揮官ヨリ復員部隊輸送ニ関スル通報ヲ受ルヤ關係

課ニ於テ復員部隊ニ指示スル事原ヲ速ニ總務班ニ送附ス

3. 總務班ニ於テハ前項資料ヲ收集較量シ復員部隊ニ下達スル命令ヲ

起案シ決裁ヲ受ク

4. 復員部隊入港スル總務班長(若ハ代理者)及關係者ハ船舶ニ判リ上陸

ニ関シ命令ヲ下達スル共ニ關係課毎ニ必要ナル連絡ヲ遂ケ檢疫(上陸待

機)周ニ於テ復員部隊ニ夫々上陸後ノ業務ヲ準備セシム

5. 復員部隊上陸ヲ開始セハ關係機關毎ニ夫々誘導者ヲ差出シ復員業務ヲ迅

速ニ完結セシメ出發歸還セシム

6. 死歿者ニ對スル慰典並生死不明者ニ關スル事項ヲ調査整理ス

7. 各部隊復員ヲ完結シ歸郷セハ其ノ部隊名及人員ヲ認可司令官陸軍大臣ニ報

告ス

8. 各部隊殘置セシ殘務整理要員ハ速ニ殘務整理ヲ完了シ轉役除隊召

集解除退官ニ歸郷セシム

9. 出張所所在地ニ上陸スル部隊ハ速ニ之ヲ出張所長ニ通報ス

10. 出張所長第7項ノ報告ハ之ヲ本部長ニ提出スルモノトス

11. 還送患者等ニシテ復員本部又ハ出張所所在地以外ノ地点ニ上陸スルモノル時ハ

本部長ハ所要ノ人員ヲ該地ニ派遣シ之ヲカモ処理ニ任セシム

第四章 本部及各機関ノ業務

第十三條 總務課ハ復員業務ノ統制、人事ノ管理、整理、輸送、既宿等ニ関スル業

務並復員本部ノ宿營、給養、設備等ニ関スル業務ヲ掌ル總務課ハ其ノ業務

ヲ分掌スル爲總務課人員ハ庶務(信務掛、自動車掛ヲ設ク)輸送、既宿、各班ニ區分

スルモノトス

第十四條 經理課ハ復員部隊上陸後ノ宿營、給養、金銭其ノ他ノ諸給與、最終

決定等ノ處理及上陸地ノ諸施設ニ関スル業務ヲ掌ル

經理課ハ其ノ業務ヲ分掌スル爲庶務主任、衣糧、用品、施設、各班ニ區分

スルモノトス

第壹條 醫務課ハ還送患者ノ統制歸屬部隊上陸地於テ衛生並復員部

隊ヲ携行スル衛生材料ニ關ル業務ヲ掌ル

醫務課ハ其ノ業務ヲ掌ル爲庶務醫務衛生材料ノ各班ニ區分スルモ
トス

第貳條 各課内各班ノ業務ハ本部長ノ認テ得テ各課長之ヲ定ムルモトス

第三章 文書及電報ノ取扱

第一節 通則

第壹條 復員本部於テ電報文書ノ發送受理ハ總テ總務課ヲ經由

スルモノトス

但シ復員本部各課相互ニ既布スルモノハ各課庶務班ヨリ直接既布ス

總テ文書及電報ハ其ノ授受ノ確實ヲ期スル爲來翰受付簿及送達

簿(配布簿)ヲ用テ送達スルモノハ受領ハ證ヲ附スルモノトス

第貳條 文書電報ノ發翰(信)者ハ支那派遣軍諸官ノ識責ヲ代行スルモノ

外通常本部長トシ輕易ナルモノハ復員本部トスルヲ得

第十九條 文書、電報ノ發翰(信)ハ總テ總務班長ヲ經由スルモノトス

第二十條 公用郵便物ノ取扱ハ總務課庶務班トス

第二節 起案及決裁

第二十一條 發翰(電)ニハキ文書、電報ハ主任將校ニ於テ起案然(附表第一條)

ニナルヘク墨又ハインクヲ以テ本文ヲ起案シ件名發翰(電)冠詞、宛名發

信者、電報ハ種類及要スレハ指定ヲ附記シ關係課ノ連帶ヲ求メタル後

順序ヲ經テ決裁ヲ受クルモノトス

第二十二條 發翰(電)冠詞ノ使用區分附表第一條ニ依リ

同文ノ電報ニハ本文末尾ニ通電先ヲ記ス且宛名欄ニハ發電順位ニ充テ

テ列記スルモノトス

第二十三條 起案セル文書、電報ノ連帶及決裁ヲ受クル順序ハ通常左ノ通

トス

1. 主任班長
2. 主任課長
3. 關係課班長
4. 總務班長
5. 總務課長
6. 本部長

第5條 總務班長文書及電報ノ統制ニ方リテ、各課班、關係及業務全般ノ連繫連帶ノ適否ヲ檢シ電報ニ在リテハ電報トスル要否、本文記述ノ適否、宛名、通電先、送信者名、指定ヲ點檢シ所要ノ修正ヲ爲スト共ニ電報ノ種類ヲ決定スルモノトス
 航空機ニ依ル文書ノ傳達ハ急ムラ要スルガ又ハ他ニ手段ナキモノニ限ルモノトス

第5條 文書電報ノ決裁ヲ受クルニテ主任者不在ニシテ急ラ要スル場合

大ノ如ク代印ヲ受ケ必要ト認ルモノニ就テハ爾後ナルヘク速ニ起草紙ヲ認印
ヲ受クルモノトス

主任者	代行者
本部長	總務課長
總務課長	總務班長
總務班長	人員班長
各課長	當該先任班長
各班長	當該先任將校

第三節 發送

第三條 決裁ヲ受ケル文書、電報ハ各課庶務班ニ發翰(電)番號ヲ

記入シテ後左ノ如ク處理スルモノトス

- 1. 電報ハ信務掛ニ送附ス
- 2. 電報主任ハ前項起草紙ヲ受領セハ發信權有無指定適否總

務班長、檢印ヲ點檢シテ後、發信ノ手續ヲ爲シ、電報ヲ通信所ニ送達
ス。時刻(地方郵便局ヲ利用スルモノニ在リテハ、賴信紙ヲ郵便局ニ送附セシ時
刻)ヲ記入シ、起案紙ハ翌朝庶務班ニ返戻ス。

3. 文書ハ通常印刷又ハ復寫後、起案者點檢、上認印ヲシ、總務課庶
務班長保管、職印又ハ廳印ヲ受ケテ後、受領証ト共ニ封筒ニ收メ、信務
掛_{ニ送}附_ス

4. 前項封筒ニ通常發送先宛名、發送部隊、發翰番號、指定ヲ記入ス
5. 信務掛ハ前項文書ヲ受領セハ、封筒記載ノ適否、文書包裝、確否
等ヲ檢ミ、指定ニ即應スル如ク、發送手段、發送順位ヲ決定シ、發送ス
第_三條 信務掛ハ地方郵便局ヲ利用スル電報及公用書類發送ノ為郵
便切手受拂簿ニ所要事項ヲ記入スルモノトス

第四節 受領

第_一條 復原本部ニ到着スル文書ハ、總テ信務掛ニ於テ受領シ、速カニ主任

課ニ送附シ且來翰受付簿既布簿ヨリ總務班長ヨリ日報トス

但シ總務課ニ届スルモノハ總務班ハ人事關係書類ハ直接總務課主任者

ニ配布シ總務班ニ於テ各班ニ分配ス

第九條 刊著文書ヲ關係課(班)ニ同覽スハ既布スル主任課(班)ノ責任トス

第十條 刊著電報ハ信務掛ニ於テ受領シ譯文ヲ淨書口上夫ノ區分ニヨリ

處理ス

總司令官總參謀長本部長課長宛電報(親展ヲ除ク)ハ六部ヲ總務

班ニ送附ス

但シ人事ニ關スルモノハ二部ヲ直接總務班主任者ニ送附ス

親展電報

封筒ニ收メ總司令官總參謀長本部長總務課長宛ノモノニ在リテハ三部

其ノ他人事關係ヲ除クニ在リテハ當該課及總務ニ各一部ヲ送附ス

3. 内容個人ノミニ關スルモノニアリテハ當該課ニ其他ハ受信者ノ所届ニ從ヒ第一

増^ニ準^シ既^布ス

ハ、傳達^ニ依^リ電^報報

宛^名應^ジ部^ヲ當^該課^ニ送^附ス

六、總^務班^ニ於^テハ、關^係課^ハ班^ニ既^布シ且^本部^長總^務課^長ノ同^覽ニ

併^スルモ^トス

第七條 諸^官退^廳後^到著^ス電^報ニ^テ警^急特^別緊^急緊^急電^報

及^特ニ必^要ト^スルモ^ニ限^リ前^項準^シ既^布シ其^他緊^急報^前條^ニ基^キ

送^附ス

第八條 電^報起^ル親^紙發^送電^報並^受領^文書、電^報ハ主^任課^(班)同^一區

分^區ニ當^該級^ニ收^メ重^要ナル文^書ノ原^本ハ印^刷(復^寫)セ^ルモ^トス

整^理保^管ス

第六章 會報

第九條 會^報ハ毎^日之^ヲ開^キ總^務課^庶務^班長^之ヲ主^宰シ各^課主^任者^出

席ス

第三十條 各課ニ於ケル命令傳達ノ責任者ハ本部長之レヲ定ムルモノトス

第三十一條 復員本部所在上級部隊等ニ於テ安置施スル會報ニ出席ノ要アル時ハ

總務課庶務班長(班附)之ニ参列スルモノトス

第八章 出張

第三十二條 公務ノ為衛戍地外ニ出張ヲ要スル時ハ出張上申簿(附表第三様式)ニ出

張先月向、出張及歸還豫定日時、利用荷物等ヲ記入シ順序ヲ経テ上司ノ

決裁ヲ受クルモノトス

第三十三條 出張ハ下士官以下ニ在リテハ所属課長或總務課長ノ將校ニ在リテハ所属課長

及總務課長ヲ經テ本部長ノ決裁ヲ受クルモノトス

第三十四條 出張所長他ニ出張セントスル時ハ第三十條ニ準シ豫メ本部長ノ認可ヲ受クルモノトス

附則

本部長ハ任務ノ範圍内ニ於テ本規定ヲ変更スルコトヲ得

附表第

起案紙

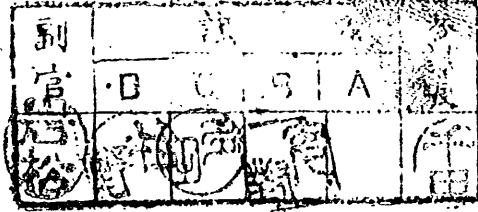
由 經 帶 連	長 課 帶 運	長 課 務 總	長 部 本	取 扱 指 定	親 展 至 急 普 通
				書 文	
		長 班 務 主	長 課 務 主	信 務 掛 受 附	報 電
			件 名	番 発 翰 (電) 支 復 電 第 號	月 日 時 分
				務 務 信 終 了	
				者 信 務 者 案 起	普 通
				者 報 附	

0665

發翰(電)番號使用區分表

課務	經理課	總務課				課分	
		支復日命第	支總復日第	支總復命第	支復人第	支復總第	支復總第
支復醫第	支復經第	支復日命第	支總復日第	支總復命第	支復人第	支復總第	支復總第
號	號	號	號	號	號	號	號
通報報告	通報報告	復員本部日々命令	復員本部テ取扱支那派遣軍日々命令	復員本部テ取扱支那派遣軍命令	人事関係諸達	總務課主管諸達	總務課主管諸達
支復醫電第	支復經電第				支復人電第	支復總電第	支復總電第
號	號				號	號	號
醫務課主管電報	經理課主管電報				人事関係電報	總務課主管電報	總務課主管電報

司令長官



田集參復第一五號

第二十三軍復員規定

職務主任

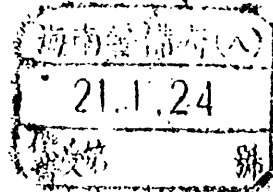
① 急送

復原(印刷)

三十部 要

(2)

昭和二十年十一月十五日
第二十三軍司令部調製



0668

田集參復第一五號

第二十三軍復員規定ノ件達

隸指揮下一般

第二十三軍隸指揮下部隊ノ復員ニ關シ
本冊ノ通定ム

昭和二十年十一月十五日

第二十三軍司令官 田中久一

0669

第二十三軍復員規定目次

第一章 總則

則

第二章 乘船前ニ於ケル復員業務

第三章 乘船後ニ於ケル復員業務

第四章 上陸地ニ於ケル復員業務

第五章 人員ノ處理

第六章 經理

第七章 衛生

第八章 雜則

0670

番 號	件 名	別 紙 目 次
第一	第二十三軍復員管理官並復員部隊一覽表	
第二	豫備役編入(召集解除)及高等文官退官處理要領一覽表	
第三	船内並船内豫備糧食交付日數標準表	
第四	上陸後携帶用並上陸地滞留間用豫備糧食標準表	
第五	還送患者用糧食整備標準表	
第六	檢疫班編制基準表	
第一	乘船者連名簿	
第二	復員完結日一覽表	
第三	復員部隊將校職務命課一覽表	
第四	復員部隊人員調查表	
附 錄 目 次		
第一	前渡資金交付並決算整理要領	
第二	第二十三軍内地歸還に伴う檢疫實施要領	

0671

第二十三軍復員規定

第一章 總則

第一條 本規定ハ昭和二十年總參一第一五三〇號支那派遣軍

復員規定以下總軍規定ト略稱スニ基キ第二十三軍隸指揮下部隊ノ復員

(復歸ヲ含ム以下同シ)ニ關シ第二十三軍司令官以下軍司令官ト略稱ストシテ定ム

ヘキ事項ヲ規定ス

本規定ニ示ササル事項ニ關シテハ總軍規定其ノ他關係諸條規

ニ據ルモノトス

第二條 總軍規定第二條ニ基ク復員管理官及復員部隊附表

第一ノ如シ

第三條 各部隊ハ概テ現在地附近ニ於テ人員ノ整理檢疫其ノ他

ノ復員ノ諸準備ヲ整ヘ廣東汕頭九龍西營ヨリ乘船歸還

スルモノトス

輸送ニ關シテハ別ニ示ス

第二章 乘船前ニ於ケル復員業務

第四條 總軍規定第三條ニ據ル復員部隊名ノ總司令官ニ對スル

報告ハ軍司令官ニ於テ一括報告ス

爾後ノ管理部隊ノ変更並ニ現地復員ヲ適當トスル部隊ノ報告

(上申)ハ同規定ニ拘ラス總テ軍司令官ニ之ヲ為スモノトス

第五條 乘船地ニ於ケル復員管理官 以下特ニ示ス場合ノ外 兵團長以テ管理官ヲ謂フノ業務ノ概

要左ノ如シ

一 適時復員會報ヲ聞キ特ニ各部隊間ノ人員整理ニ遺憾ナカラ

シム

ニ朝鮮、臺灣及沖繩ニ歸還スヘキ人員ハ適宜ノ部隊ニ轉屬編入

(但シ軍直部隊ノモ、ハ軍司令官ニ上申シタル後轉屬ス)ニ置キ

臺灣、沖繩行船便アリタル時ハ現地ニ於テ除隊(召集解除)ノ上

出發セシメ其ノ結果ヲ速カニ軍司令官ニ報告ス

尚歸還輸送開始後毎旬末調ヲ以テ朝鮮、臺灣及沖繩別

總人員ヲ速カニ軍司令官ニ報告ス

イニ言定ノ積喪スニ身毎検査ヲ實施シ性疾及法定傳染病患者
(保菌者ヲ含ム)ハ之ヲ隔離ス

四 乗船部隊ノ宿營・給養・返納軍需品ノ處理ヲ爲ス其細部ハ
別ニ指示ス

五 各部隊(人員)ヲ乗船歸還セシム

六 乗船ニ關シ準據スヘキ事項ハ總軍規定ニ據ルノ外左記ニ據ル
モノトス

一 兵站病院及野戰病院ハ患者ノ還送(轉送)終了前ト雖モ
所要ニ應シ一部人員ヲ先遣セシムルコトヲ得

二 還送患者輸送間ノ診療業務カノ爲乗船セシムヘキ看護婦
中ニハ看護助手モ含マシムルコトヲ得

七 部隊(人員ヲ留限)乗船出發決定セハ出帆概ネ四日前ニ總軍規
定附表第一其ノ一

居留民人員ノ報告ハ地区別ニ般男子
老幼婦女子患者等ニ大別区分スニ據リ速カニ軍司
令官ニ報告スルモノトシ出帆スルヤ同表ニ據リ更ニ正確ナ
ル人員ヲ報告ス

又乗船者連名簿(別紙第一様式)ハ之ヲ整理保管シ置キ
通常輸送終了後復員本部ニ提出ス

六條 各復員管理官ハ總軍規定第七條ニ據ル轉属人員
及第九條ニ據ル先遣人員ノ職、役種、兵種、官、氏名ヲ區
令官ニ報告スルモノトス

七條 各復員管理官及各部隊長ハ内地上海陸後處理ヲ要スル
事項以外一切ノ復員業務特ニ書類就中死歿者、恩典、調
係書類ノ完璧ヲ期シ不備ナル儘ニ乗船セサル如ク注意ス
モノトス 尚乗船ニ方リ金銀塊、兵器、骨董品等ノ禁制品
ヲ携行スルカ如キコトアラハ皇軍ノ威信ヲ失墜スルノミナラズ全
般ノ復員ニ悪影響ヲ及ボスコト大ナルヲ以テ之カ指導(検査)
ニ遺憾無カラシムルモノトス

第三章 乗船後ニ於ケル復員業務

第八條 乗船間各部隊長ハ更ニ人員ノ整理掌握ヲ的確ナラ
シムルニ努ムルト共ニ提出スヘキ諸書類ヲ點檢補修シ上陸ト同

時ニ完備セルモノヲ提出シ得ル如ク爲スモノトス

第九條 乗船間各部隊長ハ上陸後ニ於ケル復員實施ノ進備ニ關シ遺憾ナキヲ期スルト共ニ所要ノ事項ヲ部下軍隊ニ徹底シ要スレハ訓練ヲ實施ス 特ニ金錢ノ授受及之ニ伴ハ書類ノ整備ハ上陸後ニ於ケル復員實施ノ隘路タルヘキヲ以テ之ヲ準備ニ關シ萬全ヲ期スルモノトス

第四章 上陸地ニ於ケル復員業務

第十條 總軍規定第十五條ニ據リ提出スヘキ書類由第六乃至第十一ノ書類ハ豫メ所管長官ノ決裁ヲ要スルモノトス 又復員完結日一覽表ハ別紙第二様式ニ將校職務令課一覽表ハ別紙第三様式ニ據ルモノトシ現役將校令課意見書ハ特ニ必要ト認ムルモノ(殘務處理上部隊ヲ特ニ指定スルヲ必要トスルモノ或ハ歸郷地ト異ナル部隊等ニ希望スル者等)ノ氏名ノミ記載スルモノトス

第五章 人員ノ處理

第十一條 總軍規定第十七條第一號ニ據ル人員ノ轉屬ハ軍司令

0676

官ニ於テ之ヲ實施ス

各兵團(部隊)長ハ隷下外人員ニシテ所屬部隊ニ復歸困難ナル人員アルトキハ所屬部隊兵種役種官等叙氏名ヲ記シ名簿ニ名簿ヲ添付シ軍司令官ニ報告マルモトス(隔地兵團(部隊)ニ在リテハ所屬部隊階級別人員特任ニ在リテ、職官氏名ヲ電報ス)又同條第五號ニ據ル朝鮮、臺灣、沖繩ニ歸還スヘキ人員、轉屬ハ第五條第三號ニ據リ處理マルモトス

第十二條 所管長官並ニ之ト同等以上ノ權ヲ有スル長官ハ現役將校特別志願ヨリ現役ニ編入セラレタル者ヲ含ム以下同シノ豫備役編入及豫備役少將並ニ大佐ノ召集解除ヲ行フコトヲ得 但シ之カ實施要領ハ附表第二ニ據ルモトス

獨立旅團長(香港防衛隊長ヲ含ム)及軍直部隊長ハ現役將校ニシテ豫備役編入ヲ希望スル者アルトキハ軍司令官ニ之ヲ上由スルモトス

第十三條 總軍規定第二十一條第三號ニ據ル陸軍部外ノ官廳ヨリ配屬セラレアル文官以下ノ解雇傭ニ關スル細部ハ別ニ示ス

第十四條 在監者ノ處置ハ總軍規定第二十三條ニ拘ラス左記ニ據ルモトス

左記

刑期三分ノ一ヲ經過セル既決囚ハ假出獄セシムルモノトシ其ノ他ノ者ニ就テハ既決囚ハ刑ノ執行ヲ停止シ未決囚ハ勾留ヲ取消シ(但シ逃亡防止ニ關シ遺憾ナカラシム)軍刑務所又ハ所屬部隊ト共ニ行動歸還セシメ上陸地ニ於テ除隊、召集解除、豫備役編入、解囑、解雇(傭)ニ復員本部若クハ同出張所ト連絡ノ上歸郷セシムルコトナク關係官憲ニ移管スルモノトス

前項人員(假出獄セシメタル者ヲ除ク)ニハ所要ノ法務部將校准士官、下士官ヲ附シ(刑務所以外ノ部隊ト行動セシメタル者ニ在リテハ上陸地ニ於テ法務職員ニ引渡スモノトス)看守及諸業務ノ處理ニ任セシメ且移官ノ結果ヲ復員本部ニ通報セシムルモノトス

第六章 經 理

第十五條 總軍規定第二十七條第三號、金錢ノ支給ハ左記ニ據ル

モノトス

0678

一 第三號ノ「」支給ハ同規定ニ拘ラス全員ニ對シ昭和二十年
十二月以降上陸ノ月以前月迄ハ從前ノ例ニ依リ上陸地ニ
於テ支給ス

二 各部隊出納官更ハ各人ハ給與原簿ヲ作製シ支給月日
金額留守宅渡金控除金額等ヲ明確ナラシメ上陸地ニ
於テ支給ノ際齟齬ヲ生セサル如ク努ムルモノトス 尚出納官
更ノ下ヲ離レ行動スル者ニ對シテハ確實ニ給與通報ヲ携
行セシムルモノトス

三 留守業務規程ニ據リ昭和二十年九月以降新夕ニ留守宅
渡ヲ開始スヘキモノハ總テ之ヲ停止ス

四 其他ノ支給ハ第三號ノ「」ニ據ルモノトス

第十六條 前渡資金ノ交付並ニ決算整理要領ハ總軍規定第
二十八條第三項ニ拘ラス附録第一ニ據ルモノトス

第十七條 船内並ニ船内豫備糧食及上陸後ノ携帯用糧食並ニ
陸地帯留間用豫備糧食ノ準備(携行)ハ總軍規定第三

二條第一號ニ拘ラス左記ニ據ルモノトス

左記

各復員管理官及各兵站病院長ハ現在糧食中ヨリ左ノ糧食ヲ準備スルモノトス

一 船内並ニ船内豫備糧食

品種定量及數量附表第三ノ如シ

二 上陸後、携帶用糧食及上陸地滯留間用豫備糧食

品種定量及數量附表第四ノ如シ

三 還送患者用糧食整備基準

品種定量及數量附表第五ノ如シ

第十八條 日用品及照明材料ノ支給ハ總軍規定第三十三條第一

號ニ拘ラス各部隊長ニ於テ總軍規定附表第十八ヲ標準

トシテ支給スルコトヲ得

第十九條 總軍規定第三十五條ノ乘船地施設擔任區分ハ同

規定ニ拘ラス軍若クハ乘船地所管師團(旅團、支隊)トス

第二十條 總軍規定第三十七條ニ據ル引繼關係書類ハ廣東
地區部隊(第百二十九、第百三十師團長管理部隊ヲ含ム)ハ軍司
令官、九龍地區部隊ハ香港防衛隊長其他ノ部隊ハ當該安
團及支隊長ニ於テ取纏メ、上陸地所在ノ復員本部若クハ同
出張所ニ提出スルモノトス

第七章 衛生

第二十一條 各乘船地ニ於ケル検査所並ニ身体検査場ノ開設及身
体検査ノ實施ハ總軍規定第三十八條ニ拘ラス左記ニ據ルモノ
トス

左記

各復員管理官ハ各乘船地ニ附表第六ニ準シ乘船人員ヲ應シテ
ル検査所並ニ身体検査場ヲ開設シ検査所並ニ身体検査ヲ實施
セシムルモノトシ實施ニ關シテハ附録第二ニ據ルモノトス

第八章 雜則

第二十二條 各復員管理官ハ管理部隊ノ遺骨、遺留品(要地集

結奉安シアルモノ等ヲ含ムヲ一括シ所要ノ護送者ヲ附シ復員本部所在地港灣行最初ノ便船ヲ利用シテ還送シ復員本部ニ預託スルモノトス

第二十三條 朝鮮臺灣及沖繩ニ歸還スヘキ軍人軍屬並ニ居留民ノ輸送ニ關シテハ別ニ指示セラルヘキヲ以テ内地還送船亦ハ著ノ際ニハ内地歸還人員ノミヲ搭載スルモノトス、之カ爲居留民輸送船ノ船腹ニ餘祐ヲ生シタル場合ハ非武装傷病將兵ヲ極力多數搭載スル如ク勉ムルモノトス

第二十四條 居留民ノ歸還ニ伴フ檢疫及身體検査ハ附録第二ニ準シ實施スルモノトシ之カ指導(實施)ハ廣東ハ軍醫部其他ハ最寄軍衛生機關ニ於テ之ヲ擔任スルモノトス

第二十五條 總軍規定附表第八ノニニ據ル處刑者連名簿ハ上ニ其事變發生以來ノモノヲ記載スルモノトス

第二十六條 各復員管理官ハ別紙第四様式ニ據リ其ノ管理對象ニ就キ人員ヲ調査シ軍司令官經由總司令官ニ報告スルモノトス

但シ十月十五日現在ノ分ハ軍司令官ニ於テ現在ノ資料ニ據リ
一括報告ス

0683

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="590 784 1244 1008"><tr><td data-bbox="614 806 782 996">4</td><td data-bbox="782 806 933 996">3</td><td data-bbox="933 806 1085 996">2</td><td data-bbox="1085 806 1236 996">1</td></tr></table>	4	3	2	1
4	3	2	1		
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

附表第一

第二十三軍復員管理官及復員部隊一覽表

復員管理官	復員部	隊名	區分	摘要
第二十三軍司令部	復員部	香港占領地總督部		
		南支那派遣憲兵隊		
		野戰高射砲第五十五大隊	砲兵隊	
		野戰高射砲第九十九大隊	砲兵隊	
		戰車第三師團防空隊第三中隊		
		鐵道第十五聯隊第一大隊	工兵隊	
		特設工兵第八中隊	工兵隊	
		特設工兵第九中隊	工兵隊	
		第五十六野戰道路隊		
		電信第十四聯隊	通信隊	
		獨立無線第九十六小隊	通信隊	
		第六十一固定無線隊	通信隊	
		第六十二固定無線隊	通信隊	
		船舶通信第四大隊第三中隊		
		第十三野戰輸送司令部	輸送隊	
		獨立輜重兵第二十中隊	輸送隊	
		獨立自動車第八十五大隊	輸送隊	
		獨立自動車第三百一十一中隊	輸送隊	
		獨立自動車第三百一十二中隊	輸送隊	
		獨立自動車第三百一十三中隊	輸送隊	
		第二船舶輸送司令部南支那部(半部欠)	船舶隊	
		第二水路輸送隊	船舶隊	
		第八野戰船舶廠(半部欠)	船舶隊	
		第六十六兵站地區隊本部	兵站隊	
		第六十六兵站警備隊	兵站隊	
		第六十六兵站勤務中隊	兵站隊	
		陸上勤務第八十二中隊	特種部隊	
		第六師團第六陸上輸卒隊	特種部隊	
		第八師團第八陸上輸卒隊	特種部隊	
		第十二師團第一建築輸卒隊	特種部隊	
		第十四師團第一建築輸卒隊	特種部隊	
		特設建築勤務第一百二中隊	特種部隊	
		第二十三軍野戰兵器廠	諸廠	
		第二十三軍野戰貨物廠	諸廠	
		第十九野戰自動車廠移動修理班二個	諸廠	
		第十七野戰貨物廠被服移動修理班二個	諸廠	
		第七患者輸送部本部	衛生機關	
		患者輸送部第四班	衛生機關	
		患者輸送部第七十九小隊	衛生機關	
		第三百三十六兵站病院	衛生機關	
		第三百六十兵站病院	衛生機關	
		第三百八十兵站病院	衛生機關	
		第二十三軍病馬廠	衛生機關	
		廣東陸軍兵事部		
		第一百六飛行場大隊		

官 令

第二十三軍野戰自動車廠
 第十九野戰自動車廠後勤修理班二個
 第十七野戰貨物廠被服移動修理班二個
 第七患者輸送部本部
 患者輸送部第四班
 患者輸送第七十九小隊
 第三百三十六兵站病院
 第三百六十兵站病院
 第三百八十八兵站病院
 第二十三軍病馬廠
 廣東陸軍兵事部

廠 諸 衛 生 機 關

長 團 師 四 百 第

團 師 四 百 第

第四百師團司令部
 步兵第四百八聯隊
 步兵第四百三十一聯隊
 步兵第四百六十一聯隊
 野砲兵第四百四聯隊
 工兵第四百四聯隊
 第四百師團通信隊
 第四百師團兵器勤務隊
 第四百師團野戰病院
 第四百師團病馬廠

自 獨
 動 立
 車 輜
 第 重
 三 兵
 十 第
 九 中
 聯 隊

部 配
隊 屬

長 團 師 九 十 二 百 第

團 師 九 十 二 百 第

步兵第九十一旅團司令部
 獨立步兵第九十八大隊
 獨立步兵第二百七十八大隊
 獨立步兵第二百七十九大隊
 獨立步兵第二百八十大隊
 步兵第九十二旅團司令部
 獨立步兵第一百一大隊
 獨立步兵第五百八十大隊
 獨立步兵第五百八十九大隊
 獨立步兵第五百九十大隊

第三百二十九師團砲兵隊
 第三百二十九師團工兵隊
 第三百二十九師團通信隊
 第三百二十九師團輜重隊
 第三百二十九師團兵器勤務隊
 第三百二十九師團野戰病院
 第三百二十九師團病馬廠
 第三百二十九師團防疫隊

獨立混成第三十一聯隊
 戰車第三師團防空隊中隊
 野戰機關砲第四十九中隊
 獨立工兵第五十九大隊
 獨立輜重兵第五十五大隊(二中隊欠)
 第九師團第二架橋隊中隊
 獨立輜重兵第二十一中隊
 特設水上勤務第四百一中隊
 特設水上勤務第四百二中隊
 第十九野戰兵營被服修理班一個

隊 部 屬 配

0685

0684

指 揮 下 部 隊
トス

考 備	長 隊 衛 防 港 香	長 團 旅 三 十 第 兵 步 立 獨	長 團 旅 八 第 兵 步 立 獨	長 團 旅 三 十 二 第 成 混 立 獨	長 團 師
<p>一、爾後、情況ニ依リ一部変更スルコトアリ</p>	<p>野戰電信第三中隊 第二艦船輸送司令部南支隊ノ半部 第八野戰船舶廠ノ半部 香港停泊場司令部 第六十四砲台司令部 船舶工兵第三十四聯隊(一中隊欠) 水上勤務第六十中隊 第二百兵站病院</p>	<p>香港防衛隊司令部 獨立步兵第六十七大隊 獨立步兵第六十八大隊 獨立步兵第六十九大隊 獨立步兵第十三旅團通信隊</p>	<p>獨立步兵第八旅團司令部 獨立步兵第二十九大隊 獨立步兵第三十大隊 獨立步兵第三十一大隊 獨立步兵第三十二大隊 獨立步兵第八旅團通信隊</p>	<p>獨立混成第二十三旅團司令部 獨立混成第二十三旅團砲兵隊 獨立混成第二十三旅團工兵隊 獨立混成第二十三旅團通信隊 獨立步兵第七十大隊</p>	<p>步兵第三百三十七聯隊第二大隊及步兵越中隊 獨立混成第二十三旅團司令部 獨立步兵第二十八大隊 獨立步兵第二十九大隊 獨立步兵第三十大隊 獨立步兵第三十一大隊 獨立步兵第三十二大隊 獨立混成第二十三旅團砲兵隊 獨立混成第二十三旅團工兵隊 獨立混成第二十三旅團通信隊 獨立步兵第七十大隊</p>
	<p>隊 部 屬 配</p>			<p>部 配 隊 屬</p>	<p>部 配 隊 屬</p>

0687

0686

上陸後携帶用並上陸地滞留間用豫備糧食標準表

区分品	種	一人分数量		携帶用		滞留間用	
		一日合定量	携帶用	滞留間用	計		
主食	精米、精雜穀(粉) 類 乾パン、道明寺乾飯 種 肉	五〇〇克	概ネ五日分	概ネ五日分	概ネ十日分		
		三食分	概ネ五日分	概ネ五日分	概ネ十日分		
副食	罐詰肉塩干魚、干野菜等	保有狀況ニ應シ適宜					
調味品	粉 味 粉 油 醬 增	三〇克	概ネ五日分	概ネ五日分	概ネ十日分		
		三〇克	概ネ五日分	概ネ五日分	概ネ十日分		
食	塩	二〇〇〇克					
備考	備 一、適宜代用品ヲ充ツルコトヲ得 二、乾パン、道明寺乾飯等ヲ少クモ二日分以上ヲ含マシムルモノトス						

附表第五

還送患者用糧食整備標準表

一、重患者食

品名	種	一人一日ノ定量	整備日数			摘要
			船内整備(食)	上陸後(用)	計	
練乳又ハ粉ミルク		六〇五				
澱粉又ハ粉重湯		一〇〇五				
乾又ハ鶏卵	卵	一五五	一〇日	五日	一五日	
ビスケット又ハ小麦粉		一〇〇五				
水	飴	一〇〇五				
砂糖		二〇五				

備ハ本表品種ハ保有状況ニ應ニ適宜変更スルコトヲ得
 考ニ本表ノ外主食、調味品ヲ適宜整備スルモノトス

二、普通患者食

附表第三、第四ノ定量ニ準シ整備スルモノトシ整備日数ハ重患者食ニ準ス

0691

檢疫班編制基準表

階級別	人員	摘
軍醫中(少)佐	一	上記人員ハ被檢人員一日五〇〇〇名ニ對スル 編制人員トス
軍醫少佐(大尉)	一	
軍醫尉官	一〇	
藥劑少佐	一	
藥劑尉官	一	
衛生尉官	三	
主計尉官	一	
衛生下士官	二〇	
主計下士官	二	
衛生兵	一九〇	
計	一三〇	
備考	一衛生下士官ノ内約十分ノ一ハ衛生准士官ヲ充ツルモノトス	

要

別紙第一

(註 表紙様式トス)

乗船者連名簿

乗船地	廣東
上陸地	博多

昭和 年 月 日 廣東 出帆
南 支 丸

0693

乗船者連名簿

昭和 年 月 日
 獨立歩兵第九十八大隊

本籍地 (寄留地) 福岡縣。郡	留守地 東京都京橋区	當番者 高杉花子	所屬部隊 獨歩九八二中	役種 豫	實名 軍曹	氏名 高杉晋作
福岡縣。郡	東京都品川区	井上正則	獨歩九八二中	現	三筆長	井上一郎

調製上ノ注意

- 一、留守担当者ノ住所ハ本籍地(寄留地)ト異ナルモノニ記載スルモノトス
- 二、本名簿ハ一船舶乗船者ヲ取纏メ一冊ト爲シ各船舶毎ニ別冊ト爲スモノトス
- 三、本表ハ中央ヨリニツ折ト爲シ綴込式トナヌモノトス

0694

別紙第二

復員完結日一覽表

第百四師團長管理
步兵第百三十七聯隊

復員

部

隊

復員完結日

摘

要

步兵第百三十七聯隊

昭二〇、一三、二〇

第三中隊ノ人員約一〇〇名
依リ輸送ノ見込

備

同一兵團内ニ於ケル二個以上ノ部隊同時ニ復員スル場合ハ上級先任部隊長

考

ニ於テ集計一表ト爲シ提出スルモノトス

0695

復員部隊將校職務命課一覽表

昭和〇〇年〇月〇日復員
第〇〇師團長管理
第〇〇師團

新職名官氏	名	期別	舊職名等	命課年月日
西部軍管区司令部附	中將	〇〇〇〇	第百二十九師團司令官	昭二〇・一・一一
步兵第九十一旅團司令部				

調製上ノ注意

- 一 本表ハ復員部隊將校悉皆ヲ記載スルモノトス
- 二 各部隊長ハ復員完結ト共ニ其ノ都度本表ヲ調製提出スルモノトス
- 三 本表ハ中央ヨリニツ折トナシ綴込式ト爲スモノトス
- 四 命課年月日ハ當該部隊復員完結ノ日トス
- 五 現役將校以外ノ新職務欄ニハ召集解除ト記載スルモノトス
- 六 小部隊ハ本様式ニ準シ適宜調製スルモノトス

附録第一

前渡資金交付並決算整理要領

- 一 臨時軍事費前渡資金ノ交付ハ昭和二十年九月ヲ以テ打切トス
手持前渡資金ニ對スル決算ハ引續キ從前通實施シ所定ノ受拂計
算書ヲ調製提出スルモノトス 但シ交通不能ニテ提出困難ナル部
隊ニ在リテハ上陸地ニ於テ軍分任官ニ提出スルモノトス
- 二 昭和二十年十月以降ニ於ケル所要資金ハ支那側ヨリ借入金ニ依リ調製
スルモノトス(以下借入前渡資金ト稱ス)之カ取扱ハ總テ法幣建トス
- 三 十月以降乗船ニ至ル間ノ借入前渡資金交付並之カ決算整理ハ臨時
軍事費前渡資金ト別箇ニ從前ノ決算證明要領ニ依リ新ニ實施
ルモノトス
- 四 乗船時ニ於テ臨時軍事費前渡資金ノ支拂殘額ヲ保有シアル部隊ハ
直上分任官(最寄分任官)ニ返納(移算)ヲ爲シ締切ヲ行フモノトス
- 五 借入前渡資金ノ支拂殘額ハ上陸地ニ於テ第三號ニ依リ調製スル最終
拂計算書ト共ニ復員本部ニ於テ直上分任官ニ提出スルモノトス
- 六 受拂決算書ニハ左記書類ヲ添付スルモノトス
前渡資金受領額(振券送金・歳入金等差継受領額ヲ含ム)及移算受
拂額ノ内譯明細書ニシテ失金ニシテ拂出整理未了ノモノアリタルトキ、其ノ調
書(簡單ナルモノニテ可)

附錄第二

第二十三軍内地歸還ニ伴フ檢疫實施要領

一 方針

第二十三軍ノ南支地區撤收ニ際シマラリア、傳染病及性病等ノ内地搬入ヲ防止ス

二 檢疫ノ種類及實施責任者

集中地檢疫 兵團長又ハ獨立部隊長

乘船地檢疫 第二十條ニ規定セル指揮官

三 實施要領

一 集中地乗船地ヲ通シ傳染病、性病、マラリア等ノ感染豫防ニ努ムルト

共ニ之等患者ノ一頁セル治療ヲ實施ス

若シ劇烈ナル傳染病發生スルガ又ハ其他ノ傳染病流行蔓延セル時ハ該

傳染病終熄スル迄當該部隊ノ移動ヲ禁止シ乗船ヲ延期セシムルモ

ノトス

二 集中地檢疫

(イ) 各兵團(部隊)長ハ傳染病、性病又「マラリア」ニ就キ全面的ニ之等疾

患ヲ摘發シ極力治療ニ努ム

(ロ) 各部隊長ハ第二十條ニ據ル指揮官ト連絡ヲ密ニシ乗船豫定日判

明セハ乗船地ヘノ出發概ネ一週間前ニ終了スル如ク健康診断ヲ

實施シ必要ニ應ニ所要ノ檢索ヲ行フモノトス

(ハ) 檢疫證明書(總軍規定附錄第二ノ別紙第一)ハ概テ中隊單位ニ之ヲ發行シ檢疫ノ都度所要ノ記入ヲ受ケ内地歸還時之ヲ携行シ内地
上陸時復員本部若クハ出張所ニ提出セシム

3. 乘船地檢疫

(イ) 第二十條ニ規定スル指揮官ハ其ノ編成スル檢疫班ヲシテ一般檢疫及
性病ノ檢診ヲ實施スルヲ宜シク施セシム

(ロ) 檢疫ヲ施行スル傳染病左ノ如シ

コレラ、痘瘡、發疹チフス、ペスト、腸管系傳染病、デフテリア、流行性
腦脊髄膜炎、回歸熱及其ノ病原體保有者

(ハ) 檢疫ハ乘船前一週間以内ニ完了スル如ク實施ス

(ニ) 問診、視診ハ全員ニ實施シ病原體檢索ハ腸管系傳染病ニ對シ

テハ全員其他ノ傳染病ニ對シテハ乘船地上級先任指揮官ノ指定
スルモノ又部隊ノ汚染狀況ニ基キ實施ス(檢疫班長之ヲ決定ス)

患者(疑似患者、保菌者ヲ含ム)ハ所定ノ病院又ハ隔離所ニ收容
シ汚染又ハ其ノ虞アル部隊ニ對シテハ所要ノ消毒及隔離ヲ實施ス

(ホ) 性病中他ニ感染ノ虞アル痲病、梅毒、軟性下疳及第四性病ハ之ヲ
入院セシム

(ヘ) 檢疫班長、乘船地檢疫終了セル部隊、乘船ノ可否ヲ決定スル
ト共ニ其ノ携行セル檢疫證明書ニ所要ノ記入ヲ爲ス

(4) 内地還送患者ニ對シテ護送員ニ對スル検査ハ患者發送病院長之ヲ
擔任スルモノトス
此ノ場合病院長ハ實施セル病原体检索成績ヲ患者ニ對シテハ
病床日誌ニ記入シ護送員ニ對シテハ検査證明書ヲ携行セシム
ルモノトス

0701